

## 第77回国民体育大会（国体）陸上競技大会選手選考の方針（担当：強化部）

### 1. 今年度の国体について

2022年第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）陸上競技大会は、2022年10月6日（木）～10月10日（月）宇都宮市「栃木県総合運動公園陸上競技場」において実施されます。充実期（2022年～2025年）においては、競技別順位10位内、獲得得点（素点）65点以上、入賞数15以上を目標としています。

### 2. 種目

(1) 種目 日本陸連公式サイト参照



(2) 年齢区分

成年：2004年4月1日以前に生まれた者

少年A：2004年4月2日以降2006年4月1日までに生まれた者

少年B：2006年4月2日以降に生まれた者（ただし、中学生は3年生のみ参加できる）

少年共通：2004年4月2日以降に生まれた者（ただし、中学生は3年生のみ参加できる）

### 3. 選考

国体陸上競技実施要項および普及強化委員会強化部長野県選手選考の方針に基づいて実施し、普及強化委員会及び長野陸協理事会で確定したものを、県スポーツ協会へ推薦しそこで確定される。

(1) 国体陸上競技実施要項 日本陸連公式サイト参照

(抜粋)

#### 3 種別(種目)及び参加人数

各都道府県の参加は、下記の出場制限によるものとする。(一部省略)

ア 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーを除く。

エ 男女混合4×400mリレーの編成は、男女2名ずつとし、合計8名以内で申し込むこと。男女とも少年Aもしくは少年Bから各1名、残りの男女各1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とする。

カ 成年男子10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選会を経た者でもよい。少年男子共通5000m競歩、成年女子5000m競歩の出場者は、3000m競歩の予選会を経た者でもよい。

(キ・ク・ケ)成年男子三段跳、成年女子5000m競歩および成年女子棒高跳には、少年区分からもエントリーできる。

コ 少年男子B3000mの出場者は、1500mの予選会を経た者でもよい。

サ 成年男子300m・少年男子A300m・成年女子300m・少年女子A300mの出場者は、100m、200m、400m、いずれかの予選会を経た者でもよい。

シ 少年男子A300mハードル及び少年女子A300mハードルの出場者は、200m、400m、300m、110mハードル/100mハードル、400mハードルいずれかの予選会を経た者でもよい。

※当該種目の公認記録がない場合は、資格記録なしとして番組編成を行う。

#### 4 競技上の規則及び方法

2022年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、下記の要領で実施する。

(1) 少年男子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.914mとする。

(2) 少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.000kgとする。

(3) 少年男子Aやり投のやりの重さは、800gとする。

(4) 少年男子B110mハードルの、ハードルの高さ/ハードル間は、0.991m/9.14mとする。

(5) 少年男子B円盤投の円盤の重さは、1.500kgとする。

(6) 少年女子A100mハードルの、ハードルの高さ/ハードル間は、0.838m/8.50mとする。

(7) 少年女子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.762mとする。

(8) 少年女子A砲丸投の砲丸の重さは、4.000kgとする。

(9) 少年女子Aやり投のやりの重さは、600gとする。

(10) 少年女子B100mハードルの、ハードルの高さ/ハードル間は、0.762m/8.50mとする。

(11) 少年女子B円盤投の円盤の重さは、1.000kgとする。

(12) ベースボールマガジン社が運営する「陸上競技ランキング」に2022年9月7日時点で反映されている公認記録で番組編成を行う。資格記録の有効期間は2022年1月1日から2022年8月28日までとする。

(2) 普及強化委員会強化部長野県選手選考の方針について

ア 出場要件（成年種別の県外在住者は、a)に加え b)の要件が必要）

a) 国体出場資格の得られる大会（「兼 国体予選会」）※1 においてその種目に出場し、参加資格を有する選手であること。（「国民体育大会予選会免除に関する要領」※2、※3により、都道府県の予選会を免除されている選手は除く）

※1 国体出場資格の得られる大会（「兼 国体予選会」）

長野県春季大会 長野県選手権大会 長野陸上競技協会が主催する各トライアル大会

長野県高等学校総合体育大会・・・高体連大会（長野陸協主催）

長野県中学校総合体育大会・・・中体連大会（長野陸協主催）

長野県中学校通信陸上競技大会・・・長野陸協、中体連大会

長野県実業団陸上競技選手権大会

※2 「国民体育大会予選会免除に関する要領」に該当者は、上記大会は免除される。

※3 「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」に該当者は、上記大会は免除される。

b) 長野県選手として国体に参加意思のある成年種別の県外在住者は、長野陸協選手登録および他の都道府県陸協選手登録に関わらず、ふるさと選手登録（長野県内の中学校又は高等学校を卒業）をした選手であること。（ふるさと選手登録については、長野陸協ホームページ参照）

イ 選考方法

基準記録有効期限内の各種競技会の基準記録の突破、今年度の実績（国際大会、全国大会等の順位、記録と全国ランキング） ※4 を総合的に判断し選考する。

※4 実績を参考とする競技会

各種国際大会、日本選手権大会、日本学生陸上競技個人選手権大会

全国・北信越高等学校総合体育大会、全国・北信越中学校総合体育大会、全国高専体育大会

上記※1 に示した長野陸協が主催する大会

ウ 実施種目および長野県選手選考の基準記録（別紙参照）

○は実施種目（着色部分） ◎の種目は少年女子Aからもエントリーできる。

A基準・・・上位入賞可能な基準、B基準・・・下位入賞可能な基準

エ 選考の優先順位（下記①から順次選考する）

1 基準記録Aを突破し、上位入賞の可能性が高い選手

2 基準記録Bを突破し、下位入賞の可能性が高い選手

3 4×100m リレーおよび男女混合 4×400m リレー枠該当者（入賞の可能性がある場合）

4 普及強化委員会強化部が今年度参考とする競技会の実績を総合的に判断し、入賞の可能性を評価した選手

オ 基準記録の有効期限

2022年1月1日～2022年8月7日

（3000m以上のトラック競技は2021年9月1日～2022年8月7日）まで

カ 国体陸上競技実施要項についての補足(強化部見解)

3-カについて：成年女子 5000m 競歩は、3000m 競歩からの選考はしない。5000m の基準記録突破者からの選考とする。

3-コについて：少年男子 B3000m は、1500m からの選考はしない。3000m の基準記録突破者からの選考とする。

3-サについて：300m は、100m、200m、400m の基準記録突破者からの選考もある。

3-シについて：300mH は、200m、400m、400mH の基準記録突破者からの選考もある。

110mH（男子）、100mH からの選考はしない。

4-(4)について

少年男子 B110mH は、高さ/ハードル間が、1.067m/9.14m の基準記録突破者からの選考もある。

4-(6)について

少年女子 B100mH は、高さ/ハードル間が、0.838m/8.5m の基準記録突破者からの選考もある。

キ 注意事項

・少年男子 B 円盤投は、円盤の重さ 1.75kg の基準記録突破者からの選考もあるが、国体出場資格の得られる大会の 1.5kg 円盤投に出場していなければならない。

以上

## 2022年度 栃木国体選手選考基準記録

A基準・・・上位入賞可能な基準

B基準・・・下位入賞可能な基準

### 【男子】

種目 ○印が実施種目 ◎少年区分も可能	成年		少年					
	A基準	B基準	A		B		共通	
			A基準	B基準	A基準	B基準	A基準	B基準
○ 100m	10"37	10"50	10"55	10"64	10"85	10"95		
○ 300m	33"18	33"50	34"05	34"38				
○ 200m	(20"90)	(21"03)	(21"36)	(21"41)				
○ 400m	(47"02)	(47"54)	(47"93)	(48"18)				
○ 800m	1' 49"68	1' 50"42					1' 52"02	1' 53"17
○ 3000m					8' 27"00	8' 31"00		
○ 5000m			14' 03"00	14' 12"00				
○ 110mH(1.067/9.14)	13"83	13"95						
○ 110mH(0.991/9.14)					14"45	14"90		
○ 110mH(1.067/9.14)					(14"75)	(15"20)		
○ 300mH			37"38	37"80				
○ 400mH			(52"25)	(52"68)				
○ 400mH	50"47	50"81						
○ 3000mSC	8' 35"00	8' 45"00						
○ 5000mW							20' 30"00	20' 57"00
○ 10000mW	40' 24"00	41' 17"00						
○ 5000mW	(20' 00"00)	(20' 27"00)						
○ 走高跳							2m06	2m03
○ 棒高跳			4m90	4m75				
○ 走幅跳	7m72	7m60	7m41	7m20	7m13	6m90		
◎ 三段跳	16m12	15m91	成年と同	成年と同	成年と同	成年と同		
○ 砲丸投(7.26kg)	17m29	16m83						
○ 円盤投(1.5kg)					46m45	41m90		
○ 円盤投(1.75kg)					(42m45)	(37m90)		
○ ハンマー投(6.00kg)			61m67	58m35				
○ やり投(800g)	75m36	71m96	64m75	61m13				
○ 成少年共通4×100mR			40"03	40"20				

### 【女子】

種目 ○印が実施種目 ◎少年区分も可能	成年		少年					
	A基準	B基準	A		B		共通	
			A基準	B基準	A基準	B基準	A基準	B基準
○ 100m	11"83	11"89	11"91	12"00	12"14	12"35		
○ 300m	39"08	39"46	39"22	39"60				
○ 200m	(24"02)	(24"39)	(24"49)	(24"62)				
○ 400m	(54"34)	(55"65)	(55"15)	(56"26)				
○ 800m	2' 06"11	2' 07"52	2' 09"50	2' 11"30				
○ 3000m			9' 05"18	9' 14"63				
○ 5000m	15' 37"88	15' 42"40						
○ 100mH(0.838/8.5)			13"90	14"30				
○ 100mH(0.762/8.5)					13"95	14"15		
○ 100mH(0.838/8.5)					(14"25)	(14"45)		
○ 300mH			43"44	43"86				
○ 400mH			(59"47)	(60"70)				
○ 400mH	58"27	59"42						
◎ 5000mW	22' 21"00	22' 44"00	成年と同	成年と同	成年と同	成年と同		
○ 走高跳	1m76	1m72					1m72	1m68
◎ 棒高跳	4m00	3m75	成年と同	成年と同	成年と同	成年と同		
○ 走幅跳	6m12	6m01					5m92	5m76
○ 三段跳							12m36	12m01
○ 砲丸投(4.00kg)	15m18	14m66	13m98	13m23				
○ 円盤投(1.00kg)					39m25	35m90		
○ ハンマー投(4.00kg)	60m27	55m97						
○ やり投(600g)	55m87	53m85	50m64	46m84				
○ 成少年共通4×100mR			45"49	46"05				

### 【男子・女子】

○ 男女混合4×400mR	3' 26"06	3' 28"08
---------------	----------	----------

【期 間】 令和4年1月1日～令和4年8月7日(3000m以上のトラック競技は令和3年9月1日～令和4年8月7日)までの基準記録の突破、今年度の実績(国際大会、全国大会等の順位、記録と全国ランキング)を総合的に判断し、下記選手選考方針に基づいて選手29名(男子19名以内、女子19名以内)を選考する。

## 駅伝部 県代表競技者選考方針

派遣試合	期日	会場	目標	選考基準等
天皇盃全国 都道府県対抗 男子駅伝	2023 1/22	広島市	優勝	①前年度出場者 ②主要大会上位者 ③本年度5000mにおいて14分30秒以内を記録した者 ④本年度10000mにおいて29分以内を記録した者 ⑤中学生で、本年度3000mにおいて8分58秒以内を記録した者 ⑥上記(3)(4)(5)において、選考基準記録者が少ない時(3名以内)は、本年度選考基準に近い記録を残した上位の者 ⑦中学生・高校生については、それぞれ県中学校駅伝・県高校駅伝後に選考し、それぞれ全国大会後に確定する。なお、大会要項の範囲内で監督の判断により選手交代する場合がある ⑧県選手団は普及強化委員会駅伝部が原案を作成し、理事会で審議し確定する
東日本 女子駅伝	2022 11/13	福島市	優勝	①前年度出場者及び前年度全国都道府県対抗女子駅伝出場者 ②3000mにて9分45秒以内、5000mにて16分20秒以内を記録した者 ③中学生は1500mにて4分40秒以内を記録した者 ④指定の選考レースにて上位の者 ⑤合宿、練習会での状況から、本大会での活躍が期待される者 ⑥中学生、高校生については、それぞれ県中学駅伝、県高校駅伝後に選考し、それぞれの全国大会後に確定する。なお、大会要項の範囲内で監督の判断により、選手交代する場合がある ⑦県選手団は普及強化委員会駅伝部が原案を作成し、理事会で審議し確定する
皇后盃全国 都道府県対抗 女子駅伝	2023 1/15	京都市	3位 入賞	①前年度出場者及び東日本女子駅伝出場者 ②3000mにて9分45秒以内、5000mにて16分20秒以内を記録した者 ③中学生は1500mにて4分40秒以内を記録した者 ④指定の選考レースにて上位の者 ⑤合宿、練習会での状況から、大会での活躍が期待される者 ⑥中学生、高校生については、それぞれ県中学駅伝、県高校駅伝後に選考し、それぞれの全国大会後に確定する。なお、大会要項の範囲内で監督の判断により、選手交代する場合がある ⑦県選手団は普及強化委員会駅伝部が原案を作成し、理事会で審議し確定する
山陽女子ロード	2022 12/18	岡山市	—	①大会の主旨に賛同し、積極的に参加を希望する者 ②マラソンを中心に3000m以上の距離の県内ランキング上位者から総合的に判断し選考する

## 普及部 遠征派遣事業選手選考基準

**大会名：“日清食品カップ”第38回全国小学生陸上競技交流大会**

期 日：2022年8月19日(金)～21日(日) 会 場：神奈川県 日産スタジアム

**【種目および選考人数】**

◎男女別種目 8名

・5年100m、6年100m＝各1名

・5・6年共通種目＝コンバインドA(走高跳・80mH)、コンバインドB(走幅跳・ジャベボール投)＝各1名

◎男女混合種目 4～6名

・男女混合4×100mリレー＝男女各2～3名(補欠者男女各1名は友好100mレースに参加)

**【選考基準等】**

◎県大会の成績から、100m男女混合リレーは1位の選手・チーム。

・選手は小学校5・6年の齢に該当する児童であること。

・3日間(8/18-8/21)の参加ができること。

・自己都合や傷病等による辞退がある場合は、県大会2位以降8位までの選手・チームから繰り上がりで推薦をする。

・推薦対象者が同順位・同記録で複数名及び複数チームとなった場合には推薦候補順位を抽選で決定する。

◎監督1名・指導者3名・支援コーチ10名程。(度指導者は日本陸連にて検討中のため、変更となる場合がある。)

・監督は普及部長が担当する。指導者3名(女性1名以上)は長野陸協普及強化コーチ・女性部および参加選手指導者の中から、JAAF公認コーチ(日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ1～4)の有資格者を選出する。

・参加選手指導者を支援コーチとして派遣する。

## 第53回U16陸上競技大会にむけて（選考方法等） ジュニア部

期日：2022年10月21日（金）～23日（日） 会場：愛媛総合運動公園陸上競技場  
 ☆U16 4×100mリレーは、10月1日（土）・2日（日）国立競技場で開催される。

1. 大会の参加種目・参加資格など <ターゲットナンバー（以下、TNという）とは出場者数の上限>

(1)U16とは：2007年1月1日～2010年4月1日の間に生まれた競技者。クラブ登録者も可能。

(2)種目No. 男子1～5、女子1～4の参加資格：その種目の資格記録に到達しTNに入っていることに加え、それぞれの②の種目について、どちらか一方が資格記録に到達している者。

(3)種目No. 男子6～11、女子5～11の参加資格：県内最上位1名の選手を代表とする。ただし、男女三段跳は9mを超える記録を有すること。

(4)男女4×100mリレー：男女各6名の競技者を選抜しチーム編成する(予定)。エントリー締切 8月31日

2. 選考方法：本協会普強化委員会ジュニア部で候補者を選考し、理事会において決定する。

(1)全種目とも、上位の有資格者から参加意思を確認し、辞退の場合は次点の競技者を候補とする。

(2)リレーについては、100mを中心に150m、200mの記録とWA(世界陸連)ポイント等を参考にする。

3. その他：リレー以外の申し込みは、出場者確定後、保護者が日本陸連ホームページ「U18/U16陸上競技大会」から直接行い、参加料も納入すること。

4. 種目と参加資格記録（①の種目に出場するには、②の種目いずれか一方の記録を突破すること）

\*以下表、TN及び2種目目（参加記録）は昨年度参照、今年度の場合は日本陸連HPを確認して頂きたい。

NO.	男子U16 実施種目	TN	男子申込資格種目（2種目または予選会）					
			①		②下記のいずれか一方の記録を突破すること			
			種目	記録	種目	記録	種目	記録
1	100m	40	100m	11.15	走幅跳	5.50	110mH <sup>*2</sup>	17.40
2	走幅跳	30	走幅跳	6.60	100m	12.30	110mH <sup>*2</sup>	17.40
3	走高跳	30	走高跳	1.85	走幅跳	5.50	110mH <sup>*2</sup>	17.40
4	砲丸投(5kg)	30	砲丸投(5.000kg)	13.10	円盤投 <sup>*3</sup>	23.00	—	—
5	棒高跳	30	棒高跳	4.00	100m	12.30	走幅跳	5.50
6	150m	これらの種目は、都道府県代表選手各1名が出場できる。 *1：110mJHの規格は、高さ0.991m/インターバル9.14mとする。 1) 150mについては、予選会を145mで実施することができる。 2) 三段跳は9m以上の記録を要件とする。 3) 4×100mRは各都道府県陸協推薦で出場できる(単独・選抜可能)。						
7	110mJH <sup>*1</sup>							
8	三段跳							
9	1000m							
10	ジャベリックスロー							
11	円盤投(1.5kg)							
12	4×100mR							

<sup>\*2</sup>：110mHは(0.914m/9.14m)，(0.991m/9.14)，(1.067m/9.14)のいずれでも構わない。

<sup>\*3</sup>：円盤投の規格は1.500kg/1.750kg、どちらでも構わない。

NO.	女子U16 実施種目	TN	女子申込資格種目（2種目または予選会）					
			①		②下記のいずれか一方の記録を突破すること			
			種目	記録	種目	記録	種目	記録
1	100m	40	100m	12.50	走幅跳	4.40	100mH <sup>*5</sup>	17.10
2	走幅跳	30	走幅跳	5.45	100m	13.50	100mH <sup>*5</sup>	17.10
3	走高跳	30	走高跳	1.60	走幅跳	4.40	100mH <sup>*5</sup>	17.10
4	砲丸投(2.721kg)	30	砲丸投(2.721kg)	12.90	円盤投(1.000kg)	20.00	—	—
5	棒高跳	これらの種目は、都道府県代表選手各1名が出場できる。 *4：100mYHの規格は、高さ0.762m/インターバル8.50mとする。 1) 150mについては、予選会を145mで実施することができる。 2) 三段跳は9m以上の記録を要件とする。 3) 4×100mRは、各都道府県選抜チームが出場する。						
6	150m							
7	100mYH <sup>*4</sup>							
8	三段跳							
9	1000m							
10	ジャベリックスロー							
11	円盤投(1.0kg)							
12	4×100mR							

<sup>\*5</sup>：100mHは(0.838m/8.50m)，(0.762m/8.50m)，(0.762m/8.00m)のいずれでも構わない。